

平成28年度第4回
文京区環境基本計画改定協議会会議録

日時：平成29年1月26日（木）

午前10：00～午前11：53

場所：文京シビックセンター

24階 第二委員会室

文京区資源環境部環境政策課

○環境政策課長 それでは、定刻になりましたので、平成28年度第4回文京区環境基本計画改定協議会を開会させていただきます。

本日は、大変お忙しい中、本協議会にご出席いただきまして、まことにありがとうございます。

また、先日は計画最終案の意見照会にご協力いただき、まことにありがとうございました。いただいたご意見につきましては、最終案に、現段階で反映可能なものは反映し、検討が必要なもの等については、今後の施策の参考にさせていただきます。

それでは、まず初めに、本日の資料の確認をさせていただきます。

資料は、事前にお送りいたしました、資料第1号、環境基本計画、資料第2号、コラム（案）、資料第3号、概要版、資料第4号、小学生用の概要版となっております。

また、本日、席上配付の資料がございます。まず最初に、委員のご意見要旨・対応についてまとめた、A4横のホチキスどめの資料がございます。また、A4、1枚の「パブリックコメントの意見及び意見に対する区の考え方」、A4ホチキスどめの「文京区環境基本計画改定（素案）区民説明会実施結果」になります。

また、計画本編内に、「エコへの想い、集めました。」に掲載予定の委員の皆様のエコに関するコメント記入用紙を配付させていただいておりますので、まだ記入いただいていない方は、本日、ご記入のご協力をいただけると幸いです。

資料をお持ちでない方がいらっしゃいましたら、お知らせください。大丈夫でしょうか。

続きまして、本日の出欠状況でございます。本日は、福永委員、池原委員、内村委員、紀野委員、宮田委員が所用により欠席というご連絡をいただいております。

本日の協議会の進行につきましては、お手元の次第に従い進めさせていただきます。また、本協議会の運営は、協議会の設置要綱に従い進めてまいりますが、設置要綱第5条により、公開することとなっておりますので、よろしく願いいたします。

なお、ご発言の際、並びにご発言が終わりました際には、お手数でございますが、お手元のマイクのスイッチを押していただきますよう、よろしく願いいたします。

それでは、これからの進行は中上会長にお願いしたいと存じます。よろしく願いいたします。

○中上会長 皆さん、おはようございます。朝からの会議というのは、久しぶりというか、珍しいですね。爽やかでいいですけども、お忙しい中、お越しいただきまして、

ありがとうございました。

それでは、これから協議を始めたいと思いますが、事前に皆様のお手元に資料が届けられたと思いますし、十分目を通していただけたことと存じますので、それを踏まえながら議論をしていただければと思います。

本日協議していただきます議題は、議事次第のとおりでございますけれども、まず最初に、議事（１）文京区環境基本計画（最終案）について、事務局より資料の説明をお願いいたします。

○環境政策課長 それでは、文京区環境基本計画（最終案）について、ご説明いたします。

最終案の作成に当たり、素案に対するパブリックコメントや説明会を実施しております。まず、その結果をご報告いたします。

本日、席上配付いたしました区民説明会実施結果、A4のホチキスどめの資料をごらんください。区民説明会実施結果になります。

開催日時は、平成28年12月17日、土曜日、午前10時からと、12月21日、水曜日、午後6時30分から、2回開催しております。参加人数は、第1回が5人、第2回が1人、意見数は10件となっております。

下の表に、意見及び意見に対する区の考え方をまとめております。傾向としては、計画の内容に対する意見より、主に本計画を実現するための意見が多くありました。

3番の意見をごらんください。区民一人ひとりが意識して取り組むことが重要であり、これらを促進するためにも、主体の連携・協働による取組の推進は重要であるという意見をいただきました。区の考えとしては、本計画においても、基本目標5「連携・基盤づくり」を掲げており、主体間の連携・協働による取組は重要であり、推進していきたいと考えておりますと伝えております。

1ページおめくりいただきまして、6番の意見をごらんください。COP21の考え方を進めるのであれば、本計画に記載されている施策等では不足であるとする。また、「文京区地球温暖化対策地域推進計画」にどのようにフィードバックするのかという意見をいただきました。これに対しては、本計画は「文京区地球温暖化対策地域推進計画」と整合性を図っており、記載の施策を着実に実行することが現時点の目標達成のためには必要であると考えております。計画の全面改定の際には、COPや国の施策動向等も含めて対応することを想定してまいりますと伝えております。

もう1ページおめくりいただいて、8番の意見をごらんください。こちらはコラムに対する意見となっております。江戸時代の循環型社会について紹介することで区民の環境への関心が高まるのではないかと意見をいただきました。これに対しては、コラムを作成することで対応すると伝えております。

以上のように、計画に反映した意見は8番のみとなっております。

続きまして、「パブリックコメントの意見及び意見に対する区の考え方」の資料をごらんください。本日席上配付したA4、1枚のものになります。

意見の募集期間は平成28年12月17日から29年1月16日まで、意見については、1人の方から4件いただいております。下の表にまとめております。

1番と4番は、「高効率給湯器」や「次世代自動車」の用語解説の追加が必要であるという意見です。これについては対応しております。

2番につきましては、「コージェネレーションシステムの導入」を追加すべきという意見でしたが、これについては、素案で提示した文章の中に、その趣旨を既に含んでいるということを伝えております。

3番につきましては、「スマートシティ」の説明の文章の修正です。これについては対応しております。

パブリックコメントの説明は以上となります。

それでは、資料第1号、環境基本計画と、本日席上配付しました「委員ご意見要旨・対応」のA4横の資料をごらんください。委員の皆様からいただいた意見と対応についてまとめております。ご協力ありがとうございました。

それでは、資料第1号、環境基本計画をおめくりください。1ページおめくりいただくと、目次があります。さらにページをめくっていただきますと、「エコへの想い、集めました。」というページがあります。こちらには、区民アンケートや協議会委員の皆様からいただいた環境へのコメント等を掲載していくことを予定しております。

1ページから第1章に入っていきます。章の扉には、環境保全ポスター図案コンクール金賞作品を載せております。

1ページおめくりいただきまして、2ページから第1章に入っていきます。さらにおめくりいただいて、5ページから第2章になります。おめくりいただいて、基本理念、望ましい環境共生都市ビジョン、1ページおめくりいただいて8ページには、基本目標を掲げております。

基本目標については、「低炭素」などの4分野と「連携・基盤づくり」の1分野から設定しております。「連携・基盤づくり」については、4分野全てにかかわるということで、右側に縦に配置することで、1から4の基本目標にかかっているということを表示しております。

基本目標1の「未来へつなぐ脱炭素のまち」、低炭素の分野です。ここについてご意見をいただいております。意見・対応の表の1ページをごらんください。下から2段目の、「脱炭素」「低炭素」の両方使用していることの説明をしたほうがよい。その下の、「地球温暖化」「気候変動」の両方使用していることの説明をしたほうがよいという意見がありましたので、これについてはコラムで対応しております。

恐れ入りますが、資料第2号のコラム（案）をごらんください。1ページおめくりいただき、コラム1「気候変動への国際的な動きが活発化しています」をごらんください。真ん中の文章の固まりの下から2行目を読み上げます。「将来的にはこれまでの低炭素から、さらに踏み込んだ「脱炭素のまち」に向けて一層の取組を進めることとなります」や、その下の文章で、地球温暖化と気候変動の関係等、説明をしております。このようにコラムを工夫することで、意見に対応いたしました。

恐れ入りますが、計画のほうにお戻りください。1ページおめくりいただきまして、次ページから第3章に入っていきます。

第3章の冒頭に、文京区の環境マップを載せております。左の凡例を見ていただくと、河川・池、湧水点、樹林地、公園・社寺、緑の多い学校、また、標高につきましても色で示されております。一目で文京区の地形の特性や緑と水の分布状況がわかる図面となっております。

こちらの図面は、右上に記載しておりますように、石川副会長のご協力のもと、中央大学理工学部人間総合理工学科環境デザイン研究室で作成したものをご提供いただいております。この場をかりてお礼を申し上げます。ありがとうございます。

1ページおめくりいただきまして、施策のツリー表になっております。

さらにもう一ページおめくりいただくと、基本目標に入っていきます。基本目標の最初のページに、「10年後の姿」、また、それを実現するための施策について把握できるように、表を作成いたしました。この表につきましても、委員の皆様の意見を反映して、改善しております。

意見・対応表の1ページをごらんください。上から3段目の、「横書きの基本目標と

楕円図内の基本目標と同じ文章が2つあるので、楕円図内の基本目標を削除し、イラスト等を配置したほうが良い」という意見をいただいておりますので、これに基づき、改善しております。真ん中に目立つような形で、「10年後の姿」を載せて、その整理した結果、あいたスペースに、「区民の主な取組」や「事業者の主な取組」も配置いたしました。また、写真やイラスト等も配置しております。

1ページおめくりいただきまして、現状・課題、また、それを分析したデータになっております。こちらのデータにつきましては、グラフが小さいということで数字が見えにくくなっております。ですので、年号や数字につきましては、必要なものを大きくして、必要でないものは削除するという工夫で、見やすい形に改善したいと思っております。これについては全編、その形で、グラフについては改善します。

そのまま進んでいただき、20ページが資源循環の分野になっております。

26ページをごらんください。快適・安全の分野です。

34ページをごらんください。自然共生・歴史・文化の分野になります。

42ページをごらんください。連携・基盤づくりの分野になります。

49ページから第4章になります。

1ページおめくりいただきまして、推進体制のイメージ図をごらんください。また、先ほどの意見・対応表の3ページをごらんください。真ん中の推進体制にありますように、推進体制図における、各部局からの一方方向の体制ではなく、本部からの伝達・通達などの指示が必要ではないかというご意見をいただきました。これを受けまして、推進体制イメージ図の中に、事務局を設けて、情報提供と結果報告の双方向という形で直しております。

資料第1号の説明は以上となります。

続きまして、資料第2号、コラム（案）をごらんください。

コラムについては16個、設定しております。内容確定後、最終的に本編へ差し込んでいくことになります。

1ページおめくりいただきまして、まず低炭素の分野で、コラム1「気候変動への国際的な動きが活発化しています」。

次ページ、コラム2「水素ってなんだろう？」。

1ページおめくりいただきまして、コラム3「ZEH・ZEBとは？」。

4ページから資源循環の分野です。

コラム4「食品ロスをなくしましょう」。

1ページおめくりいただいて、コラム5「54gのごみとは？」。

コラム6「雑がみは資源です」。

1ページおめくりいただいて、コラム7「江戸と現代の循環型社会の歴史」、これにつきましては、区民説明会でいただいた意見を反映して、作成したコラムになります。

次ページから、快適・安全の分野。

コラム8「神田川はこんなに変わりました」。

1ページおめくりいただいて、コラム9「身の回りの環境はどうなっている？」。

コラム10「適応策ってなに？」。

1ページおめくりいただいて、自然共生・歴史・文化の分野です。

コラム11「文京区でもこんな生きものを見つけました」。

コラム12「歴史・文化の息吹を感じましょう」。

コラム13「水辺を探しましょう」。

1ページおめくりいただきまして、連携・基盤づくりの分野になります。

コラム14「環境ライフサポーターを紹介します」。

コラム15「事業者との連携・協働のカタチを探ります」。

1ページおめくりいただいて、コラム16「区が目指すべき未来の環境都市像をみんなで考えました」。昨年7月に開催しました、環境ライフサポーター、中央大学学生の皆様のご協力をいただいた、「文京区の未来の環境都市像を考える」のワークショップについて載せております。

資料第2号の説明は以上となります。

最後に、本日席上配付しております、計画の表紙の案をごらんください。

2種類、配付しております。青空のものと、2枚目が写真をちりばめたものとなっております。これは、事前の意見照会の際には3種類あったものを、絞り込みまして2本にしております。

まず、その時点と違いますのは、意見照会の段階では、青空のものは青空だけでしたが、それでは、文京区の空か、日本のどこの空かわからないというご意見もありましたので、左下に、シビックセンターのビルの写真を載せております。

また、2枚目につきましては、現在、写真が5種類ちりばめてあるんですが、神田川の写真につきましては、桜の時期がいいのではないかとか、右上の坂については、もっ

と魅力的な坂があるのではないかという意見もいただいております。

票の結果といたしましては、1枚目の青空のものにつきましては1票でした。2枚目については5票ございました。そのほか、9名の方からは、事務局一任ということでもいただいております。

説明は以上となります。

○中上会長 どうもありがとうございました。

ただいまご説明がございました内容につきまして、まず最初に、計画の本編とコラムについて、ご協議いただきたいと思います。それが終わりましたら、表紙について、また、ご議論を頂戴したいと思います。

ご質問、ご意見の内容によりましては、今日ご出席いただいております各担当の幹事さんにご説明をいただく場合もございますので、よろしくご協力のほどお願いしたいと思います。

それでは、皆さん、どうぞご自由にご意見を頂戴したいと思います。

どうぞ、諸留さん。

○諸留委員 諸留ですけれども、環境基本計画、資料第1号の最後、50ページなんですけれども、推進体制イメージということで、文京区の中に環境対策推進本部があって、事務局をつくったということで、そこから関係各部局に矢印があるんですけれども、私、前にこれを見て、ちょっと説明したので、説明が足りなかったのかわかりませんが、これは情報提供が関係各部局から来るようになっていきますよね。黙っていれば多分、何も来ないと思うんですよね。

だから、最初にまずアクションを起こすのは、文京区の事務局がアクションして依頼するなり、そういうことで関係部局に働きかけて、それから情報提供が来て、それで結果報告ということになるんじゃないかと思っているんですが、ただ、ほんとうにこれだけ見ると、黙っていれば情報提供が各部局から来るような感じを受けちゃうんですが、そんなことは絶対ないと思いますよ。黙っていれば、やらないほうが楽なんだから、多分、出てこないと思いますよ。

だから、そういうことで、まず順番を言えば、やっぱり先ほど言ったように、お願いして、それから来て、その結果、どうであるよということになると思うんですけれども、どうでしょうかね、わかりませんが。

以上です。

○中上会長 事務局、いかがでしょうか。

○環境政策課長 委員のおっしゃるとおり、この情報提供の中には、そういった手続も全て含めた形と考えております。黙ったまま情報が集まってくるとは思っておりませんので、そこには当然、働きかけていきます。

例えば、今回の環境基本計画を策定するに当たっても、関係部署がありますので、そういった部署に集まっていただいて、情報提供したり、していただいたり、チェックをしていただいたりしております。そのような形で、こちらから働きかけながら、情報提供いただく形になると思います。

○中上会長 図では書き切れていませんが、おっしゃることは入っているというご答弁でございましたが、他にいかがですか。どうぞ。

○原嶋副会長 大変精力的にまとめていただいて、どうもありがとうございました。

個別の内容もごございますけれども、環境基本計画も、区の行政の中では、いろいろなテーマの中の一つということで、この計画の中でも、ほかの計画に依存したり、それを引用したりという部分も当然たくさんありますし、この計画そのものも、ほかと、文面に書いてなかろうと、関係してくるところがあると思うんですけれども、この計画で単独で、推進についていろいろ記述もごございますけれども、ちょっと確認させていただきたいのは、環境基本計画もそうですし、ほかの計画全体を通して、区全体の計画の進捗状況の評価というのは、今、どこでもPDCAサイクルとかということで導入されてきていると思いますけれども、全体として、進捗状況については、区民の皆様に、評価の状況とか、点検の状況とか、あるいは見直しの状況などについて、情報公開をされているような仕組みというものはあるんでしょうか。あるいは、それがどうなっているのか、差し支えない範囲で教えてください。

○中上会長 事務局、いかがでしょうか。

○環境政策課長 資料の14ページをごらんください。低炭素の分野になるんですが、例えばこの分野でいいますと、右肩に「関連個別計画」ということで、実際、具体的に進めるのは、どういった計画で進めていくのかということを知りやすく書いております。

例えばここでいくと、地球温暖化対策地域推進計画があります。この計画につきましては、それぞれ指標等を設定しまして、毎年、それを評価して、PDCAでアクションの見直し等を行っております。

今回の環境基本計画につきましては、そういった指標と目標値を定めてはおりません。では、実際どういうことをするのかということですが、資料の50ページの進行管理に記載しているんですが、今回、計画で設定した5つの基本目標ごとに、個別計画や既に実施している施策等がありますので、それらの指標の推移や実施状況を把握することで、それぞれの基本目標ごとの状況を把握して、それを統合的に見ることで文京区の環境全体を把握していこうと考えております。

ですので、その把握の方法はいろいろあると思うんですが、基本目標ごとに指標を設定するとか、考えているんですが、それを、ある程度まとまった段階では、ホームページ等を使いながら公表していきたいと考えております。

○中上会長 企画政策部長さん。

○企画政策部長 企画政策部長の吉岡と申します。

区の全体的な進行管理でございますけれども、文京区は、基本構想というのをつくってございまして、ほぼ10年間の計画になっておりますけれども、それを3年間ごとに、実施計画という形でローリングをさせております。実施計画の中には、計画事業が約250程度ありまして、それにつきましては、個別の計画の上位計画という形になっておりますので、それについては毎年度、評価をいたしまして、それをホームページ等で公開しているという作業はしてございます。

○中上会長 どうぞ。

○原嶋副会長 多分、区民の皆さんから見ると、一個一個の計画を逐次見るまでの余裕もなかなかなくて、全体像で、例えば、環境の部分はよくやっているとか、あるいは福祉の部分はこうだとか、そういった見やすさというような情報提供をぜひ、全体として、ますます工夫していただきたいと感じました。

以上です。

○中上会長 ありがとうございます。

ほかにございませんでしょうか。テーマが非常に広いものですから、ほとんどの分野をカバーしてしまいますので、それをどういうふうに適宜まとめて、区民にわかりやすく情報を伝達するかというのは、それなりの腕と工夫が必要だと思いますので、事務局はぜひその辺をよろしくお願ひしたいと思います。

どうぞ。

○和田委員 ちょっと話題が戻って恐縮なんですが、先ほど諸留さんがおっしゃったよ

うなところの、枠の中の事務局と関係各部署、これは諸留さんがおっしゃるのもすごく理解できますし、情報提供のところを、矢印を両矢印にするというのもいかがかなと思うんですね。そうすると、区民が見て、一方通行じゃなくて、相互の連携といいますか、そういったことがイメージとして目に見えるんじゃないかなと思いましたが、いかがでしょうか。

○中上会長 ありがとうございます。私もちょっと今、改めてこの図を見ておまして、情報提供があつて結果報告というのは、どういう関係にあるのかなと思って、むしろ情報提供が双方向であつて、結果報告というのは、何か問い合わせがあつたときの結果報告でしようから、また違う流れではないかと思ったんですが、どうでしょうか、その辺のおさまりぐあいが……。

○環境政策課長 今のご意見をいただいて、見たんですけれども、私は先ほど、双方向に改善しましたと言ったんですが、確かにこれで見ると、情報提供は一方通行になっていますので、当然、逆の場合も、我々の計画はこうなのでこういうふうにしてもらえないかという、事務局からの情報提供も絶対あるはずですので、ここは、情報提供でまず双方向にいたします。それは改善します。

○中上会長 では、石川先生。

○石川副会長 普通は目標があつて、それがどういった形で達成されるかというような形で、計画の進行管理が行われます。

36ページに、現状・課題等々、緑に関してあるのですが、文京区におかれましては、緑の基本計画がかなり古いということで、目標とかそういったものが、ほかの区に比べて相当古いので、しっかり描かれていないわけです。そうしますと、この環境基本計画で目指すべき、よって立つ緑の基本計画自体が、今の状況では、きちんとバージョンアップされていないということなので、それを心配しております。

36ページのところに、統計がありますが、これに関しては、ご説明いただいたときをお願いしたのですが、1本1本の木というよりは、区の緑被率が、10年前どのぐらいだったとか、今はどうだとか、将来ここまで頑張るとか、そのような情報が必要と思います。1本1本の木が何とかというよりは、区全体の緑の状況がどうなっていて、だから、環境基本計画ではこのような方向を目指していきたいのです。ということがわかるようなグラフに差しかえていただければと、申し上げておきました。

そういうデータがあるのかどうかということもお調べいただくことになっております

ので、ここに関しましては差しかえていただきたいと思います。

湧水に関しても、10年前と比べてポイントが減っているという事実がございますので、これも、10年前はしっかり湧水があったわけですから、これからどうしていくか、減っているから載せないというのではなくて、こういう状況があるから、環境基本計画では頑張っていくんだよと。減っているにもかかわらず、サワガニとか、しっかり頑張ってそこで生存している生物がいるわけですから、こういった命を大切にして、未来につないでいくのがこの環境基本計画ですよというメッセージが伝わるものであってほしいと思います。

もう一つ、コラムで、神田川はこんなによくなったというのがあったんですが、直立護岸の、あまりよくなったとも思えないような写真でしたので、神田川がよくなったということをしっかり語るのであれば、1枚1枚の写真を大事に選んでいただいて、差しかえていただければ、もっとよくなると思います。

以上でございます。

○中上会長 ありがとうございます。確かに、エネルギーのところといたしますか、温暖化のところは経年的な変化が記載されていて、それに対して、もっとこっちに向かって走りますよというのがよく、メッセージとして伝わりますけれども、ここは断面だけが入っている感じなので、方向性がよく見えないという、まことにご指摘のとおりかと思いますが、データはございましたか。今からつくるのでは大変なことでしょうから。

○石川副会長 一応、お願いしていたんですけれども。

○中上会長 ああ、そうですか。どうでしょうか。

○環境政策課長 今回の本計画につきましては、現状課題の分析に関してはこちらに載せているデータでやっておりますので、ここに載せるのはこの図を使うんですが、副会長のほうから意見をいただいておりますので、今後、そういったデータは重要になってきますので、環境基本計画を改定した後、どのように変わっていくかというのをしっかり捉えていかなければいけませんので、そういうデータが必要でありますし、もしなければ、どういうふうにつくっていけばいいのかというのは、しっかりと検討したいと思います。

現時点では、探したんですが、そういったデータはございませんでしたので、ここに載せることは、今回の計画ではちょっと載せられないので。

なんですが、先ほどのコラムの写真等につきましては、これは水質にスポットを当て

て、下水道局の資料を使ったということがありますので、もし、うちのほうで使える神田川のいい写真があれば、そういったものと差しかえても問題がないというのであれば、工夫はしてみたいと思います。

○中上会長 先生、いかがでしょうか。

○石川副会長 データがないということは大変な驚きでございます。それから、緑の基本計画に対しましても、この場で申し上げるのは恐縮ですけれども、かなり古いものでございますから、レベルとしては、文の京、日本で最も文化・歴史の最高ランクにある区としては、全国標準、達しておりません。

緑の基本計画は法定計画でございますので、それがございませんとしっかりとした政策が展開できません。10年ごとぐらいに全国の、300とか400あるんですけども、それをみんな集めて、緑の基本計画の優良事例を紹介して表彰するというのを、私ども、国交省などと連携してやっておりますが、文京区は入ったことはございません。

ですから、これからの課題として、せつかく環境基本計画でこのようにご方針を出されましたので、関係の部局と連携して、法定計画としてしっかりつくり、どんなふうに文京区の緑を守り、育てていくかということに関しましては、先ほどの50ページのお約束に、一緒にやっていくということでございますので、ぜひ明確な目標をつくられて、しっかりとした計画をつくっていくべきと思います。それから、データがなければできませんので、大学は幾らでも協力いたしますので、ここを出発点として進めていかれることを強く希望いたします。

○中上会長 ただいまの先生のご意見は、どういうふうにこの中に盛り込むんでしょうか。それとも、これはこれとして、別途の筋書きで走らせるというふうになるんでしょうか。非常に貴重なご意見だと思いますので、書き込めるなら、ここに、緑の計画をこれからつくりますと一言あれば、これを今度は関係部局に投げ、お願いして、情報提供して、結果を、また情報のやりとりをしてつくっていくというプロセスになっていくわけですよ。

いかがでしょうか、その辺は。

○環境政策課長 35ページの自然共生・歴史・文化の頭の表をごらんください。この分野に関しては、右肩に、関連個別計画ということで、文京区緑の基本計画や文京区アカデミー推進計画などというふうに書いています。

文京区緑の基本計画は当然ございます。ですが、今ご指摘があったように、ちょっと

年数がたっているということもありますので、こういった計画物は、今回の環境基本計画も少し前倒しで改定しているように、それぞれの事業課によって、必要なときに改定をしていくこととなりますので、ある程度年数がたつていくなれば、こういった計画も見直していくことになると思いますので、環境基本計画に書かなくても、必要に応じて、その計画の改定はされていくと思います。

改定をしていくときには当然、今いただいたような意見で、環境基本計画にも載っているわけですから、こういった考えを達成できるような内容で改定してもらえないかというのを情報発信、先ほどの推進体制ではないですけれども、こちらからもお願いしていくことになると思います。

○土木部長 先ほど環境政策課長が言ったように、緑の基本計画はあるのですが、データ自体が8年ごとですとか、10年近くの中でやっているということもありますので、一番直近のデータが、平成24年度に行ったデータが最新のもので、また今後、時期を見ながら、調査等を行いながら、改定等も含めて検討していきたいと思っております。

○中上会長 ありがとうございます。ぜひよろしく、フォローアップのほうをお願いしたいと思います。

それでは、ほかにございませんでしょうか。

どうぞ、佐野さん。

○佐野委員 計画の38ページになります。生物多様性の保全ということで、「事業者の主な取組」というところがございます。事業活動における生態系への配慮ということで、取り組みについて挙げていただいておりますが、ほかの「事業者の主な取組」欄を見ると、もう少し具体的に書いてある。

例えば隣のページですと、屋上緑化、壁面緑化とか地域の活動への参加ということで具体的に書いてありまして、ここが、「事業活動における生態系への配慮」という表現ですと、一般の方にはちょっとわかりにくいのかなと思いますので、例えば、グリーン購入と連動させて、サステナブルな森林経営に配慮した紙を調達するんだとか、敷地内の緑化を進めるんだとか、従業員がもう少し社会貢献活動に参加して緑と触れる機会を増やすんだとか、何かそういうイメージはあると思いますので、1例か2例で結構かと思うのですが、ほかの「主な取組」欄と同様に、具体例を挙げていただくとわかりやすいのではないかなと感じました。

それと、コラムの11ページのところに、同じように生物多様性絡みだと思いましたが、「こんな生きものを見つけました」というところがございまして、写真を具体的に上げていただいて、大変イメージがしやすく、わかりやすいのかなと思っておりませんが、ニシキゴイの写真がありまして、そこだけが、いわゆる人が飼育する生き物になっております。ほかは全て野生の生き物になっているかと思ひまして、区内で見つけた生き物ということですので、特にこれで誤りだとは思わないんですけども、もう少し統一感があつたほうがいいのかなど。色味からしても、ニシキゴイはすごく映えるので、入ってきたことにも、問題はないかと思うんですけども、もう少し写真を選んでいただくと、さらによくなるかなと感じました。

全体的にも、すごくよくまとまって、意見がいろいろ出たものをまとめていただいているので、そのあたり、もう少しきめ細かく配慮していただくと、さらにいいのかなど感じます。

以上です。

○中上会長 ありがとうございます。

いかがでしょうか。

○環境政策課長 最初の質問ですけども、38ページの生物多様性の保全の項目になると思います。こちらの項目につきましては、「主な施策」にありますように、今後、生物多様性の地域戦略を検討していきます。ですので、区として、生物多様性をどう捉えるか、また、今後それをどう活用していくのかという考えを、現時点では持っておりません。まずはその考えをしっかりと持たないと、実際の具体的な施策として、区民の皆様はどういった取り組みをしてもらおうとか、事業者の皆様はどういった取り組みをしてもらおうか、実は書けない状況になっています。

ですが、区民の皆様を取組を見ていただくと、生きもの調査へ参加してくださいとか、要は、これはこれから地域戦略をつくるに当たって必要なことですし、そういったものを書いております。また、漠然と、「生きものを大切に作るなどの配慮」で、同じレベル感で、事業者の主な取組に関しても、「事業活動における生態系への配慮」ということで書いております。

ですので、具体的に今、書く内容がないので、あえて方向性だけ示すような内容に記載をして、そこにとどめております。

2点目のコラムに関しましては、これは芭蕉庵の池のコイということで、神田川です

とある程度、自然に育ってきたコイの可能性もあるんですが、これは飼育している生物ということに当たると思いますので、そこら辺、もっといい魚の事例がありましたら、差しかえたいと思います。

○石川副会長 理科の先生とか、いろいろご専門の方がいらっしゃると思いますので、できれば名前をきちんと入れていただきたいと思います。サワガニも、私、ちょっと種類までわかりませんので、これは理科の先生かどなたかに伺えばしっかりわかると思いますので、コラムで出すからには名前を入れていただきたいということです。

それと、重ねて恐縮ですけれども、私、やはり緑に関しては、先ほど土木部長さんでいらっしゃいますでしょうか、平成24年に調査をしていらっしゃるというお話がございました。そうすると、24年のデータはあるわけです。おそらく詳細な調査だと思います。平成24年のデータをしっかりとした数字で、文京区には一体何ヘクタールの緑があるのか、どういう緑があるのか、水辺は何ヘクタールなのか、それが文京区の面積の何%なのか、せめてそれだけでも構わないですので、のせた方が、区民の皆様に親切ではないかと思えます。

○中上会長 よろしいでしょうか。どうぞ。

○環境政策課長 新しいデータでは、緑被率等のデータはあります。副会長から意見をいただいて、我々もいろいろデータがないか調べました。ですが、そのときいただいたご意見として、樹種の全体数とかそういったものについては、ないかと探したんですが、なかなかそういったものはなかったもので、それは載せられませんでした。

ですから、緑被率等のデータはあります。また、24年のデータを今現在、この緑被率については使っています。ですので、このページに関しましては、基礎調査の段階で現状や課題を分析するに当たって使ったデータですので、これを差しかえてしまいますと、それらの結果が変わってしまう可能性もありますので、ここに載せるのはこのデータで載せさせてもらいたいと思います。

しかしながら、先ほど言ったような植生だとか、そういったものに関する詳しいデータがあれば、資料編ということで、後ろにさまざまなものを載せる予定でおります。現在想定しているのは、各種法律の国等の法体系とかを載せる予定でおりますので、そういった資料編の中で、緑に関するもの、詳しいデータがあれば、そこに追記ということと載せていきたいと考えております。

ですので、ここに関しては、基礎調査の段階で使ったデータを載せさせていただきた

いと思います。

○中上会長 ありがとうございました。

よく緑被率の区の比較のデータを見ていますと、随分年次に、区によってばらつきがあるんですね。古いデータが入っているところもあれば、比較的、こうやって見てくると、文京区は新しいほうに入るわけですね。そうすると、これより10年近く昔だったら、それは多分、緑は多かっただろうなということになるので、このまま区民の方々が、今現在、全部同じ条件で比較したデータだというふうに誤解を招かないようにしておいたほうがいいかもしれませんね。

私も今、中村部長さんと先生のお話を伺っていて、改めて気がついたんです。これをご説明いただいたときには気がつかなかったんですけれども、中央区なんか平成16年、目黒区なんか平成15年ですから、10年も違えば随分、開発状況も違っていると思いますから、この数字の意味するところが違ってくるとと思いますので、文京区はほんとうはもっと上位に来るかもしれませんね、こういう並べ方をすると。

そういうこともありますので、ちょっとその辺、工夫といいますか、読み取るときに、この図は必ずしも一律に比較したものではないということをごくかに書くとか、もしお使いになるのならば、ちょっと工夫をお願いしたいと思います。

○環境政策課長 わかりました。区別緑被率につきましては、このままの形ではなくて、文京区の緑被率を使いながら、ほかの区のデータはちょっと工夫をして、その比較がしっかり正しい結果であるというグラフに直して、差しかえたいと思います。

○中上会長 私も最初に見たとき、文京区はもっと上位にあるのかなと思っていて、真ん中辺なのでがっかりしていたんですが、よくよく見ると、実は上位だったかもしれないということになりそうですので、その辺、またよろしくお願いします。

ほかにございませんでしょうか。ちょっと時間をとってしまいましたけれども、もう一つ、表紙の写真、カバーをどうするかということについてもご意見を頂戴したいと思いますので、そちらについて、ご意見がございましたらお願いしたい。

ご説明では、空の入ったブルーのものが、そのとき、いただいたときには確かに左下のシビックセンターは入っていなかったように思いますが、これが1票で、2枚目のほうが4票あって、それより一番多かったのは9票で、事務局にお任せしますというのが一番多かったそうでございますので、改めて皆様のご意見をお伺いして、いいアイデ

アがあれば、そちらに移行することも可能でございますので、ご議論を頂戴したいと思います。いかがでしょうか。

○**松下委員** 私は絶対こっちしかないと思うんですが、このデザインはプロがやったんですか、並べかえとか。

○**環境政策課長** 事務局でやりました。

○**松下委員** わかりました。改めて、素晴らしいところが多いなと感じるのと、やっぱり文京区というと、地方都市から見ても、都心のオアシスみたいに思っている方もいるので、1つ1つ、全部素晴らしいんですけども、例えばこれは全部、緑が重なっていて、デザインはよくないし、桜もあるわけですし、場合によっては写真を撮り直ししてでも、バランスよくやれば、素晴らしい表紙になるなと思います。改めて、いいところが多いなと思いました。

こちらのほうは、私は絶対やめてほしいんですけども、どうしてかという、環境とかデザインというときに、残念ながら、シビックセンターのビルは大変評判が悪いんですよ、専門家からも、地方からも。青空だけだったらまだしも、これを入れちゃうのはちょっとブラックユーモア的になっちゃうので、絶対避けてほしいと思います。

以上です。

○**中上会長** ありがとうございます。

ほかにご意見はございますか。どうぞ。

○**貝塚委員** 今、松下さんのご意見に賛成なんですけれども、こっちは写真が多過ぎませんか。それで、ここに桜が入るのであれば、これも神田川ですよ、こっちも。だから、すごく整理されて、こんなに、何かこう、同じようなイメージが重なり過ぎて、もう少しすっきり整理したらいいかなと思いました。

それからもう一つ、ちょっと戻りますけれども、目次の作り方がよくわからなくて、もしこのままでいくんだとしましたら、左側の一番下に資料編というのがあって、資料編の中にコラムがあり、今お話を聞いたら、法、条例とか何かが入ってくるわけですよ。だから、それをこちにまとめて、第1章、第2章、第4章までと資料編は一応、同格なわけですよ。これだけ見ていると、何だか、初め、わからなかったんです。

コラムの目次が来て、ずっと後ろ側にあるものが並ぶんでしょうけれども、それは資料編の中のコラムですか。

○**環境政策課長** コラムについては、本編の中にちりばめていきます。

○**貝塚委員** ああ、そうなんですね。

○**環境政策課長** はい。それをすぐ見られるように、コラムだけの目次を右につくりま
す。

○**貝塚委員** コラムの量は、ものすごく文字数が多いでしょう、写真とか何か。

○**環境政策課長** そうですね。16件を本編に。

○**貝塚委員** それが、ページ数としては、同じ関連のところそれが差し込まれていく
と。

○**環境政策課長** そうですね。コラムが、例えば、ばらばらで本編に入っていきますの
で、コラムの1が5ページとか、コラムの2が14ページというふうに飛んでいきます
ので、コラムだけ見たいときに、コラムのページだけを書いた目次を右側に載せようと
考えています。

○**貝塚委員** わかりました。ちょっとその辺が理解できませんでした。

○**中上会長** ありがとうございます。多分、貝塚さんの今のご指摘は、松下さんのご
指摘とも重なるわけですが、デザイナーにきちっとしたデザインをしてもらうと、もっ
ときれいになりますよということだと思いますので、予算との兼ね合いもあるかもしれ
ませんが、この写真を、もしこちらのほうを選ぶのであれば、そこをもう一ひねりして
いただきたいというご意見だったと理解しました。

ほかにございませんでしょうか。どうぞ、島田さん。

○**島田委員** 島田です。表紙もよくまとまっていて、楽しいなという思いなんです
が、表紙に載せる要素なんですけれども、ほかの概要版とかもちょっと絡むんですけれど
も、基本計画の時期10年とか、何年から何年という、前回の基本計画も10年間というの
が、特にその期間が書いていなかったりするので、これはぜひ、10年間の計画である
よということが表紙にちゃんとあって、なおかつ、概要版とか本編のほうにも入れてい
ただけたらいいんじゃないかなと思いました。

以上です。

○**中上会長** よろしいでしょうか。

○**環境政策課長** 計画期間につきましては、例えば前回の計画では、20年間で想定し
ていたんですが、前倒しで17年目に改定をしておりますので、10年と決めたとして
も、社会情勢の変化で、途中で改定する場合がありますので、やっぱり表紙等には載せ
ないほうがいいのかなと考えています。

○中上会長 よろしいでしょうか。

○島田委員 そういう事情があれば、そうだと思うんですけども、例えば先ほどから、ホームページの話もちよっと出ていまして、前回のを見ると、ページを切り分けた感じで個々のページが出てくるんですね。例えば緑のマップとか、すごくこれは、ボランティア活動をするときに使わせてほしいんですけども、カラーコピーするとすごくお金がかかるんです。だけど、ホームページでぱっとプロジェクターに出したりすると、結構使いやすいので、そういうときに、これがいつの調査に基づいてつくられているのかという、その時期は結構大事だと思うんですね。

表紙に10年と書かないとしても、個々の資料で、どういう時期に調査して、10年後にこういうふうになる意図があるんだよとか、期間は結構大事になってくるので、ちょっと考慮していただけたらと思います。

以上です。

○中上会長 非常に重要なご指摘で、文献等を出すときには、いつの時点の資料かというのは極めて重要な情報ですので、それはぜひこの中に、どこかわかるようなところに入れておいていただくと、先ほどの緑被率のデータがいつかということと重なるような問題になってきますので、ぜひよろしくお願ひしたいと思います。

どうぞ。

○石川副会長 ありがとうございます。10ページ、11ページ、これは今回の印刷ではちょっとぼんやりしていますけれども、もっときれいに出てきます。

10ページの下のほうに、「使用データ」と小さく書いてございまして、国土地理院の基盤地図情報と、それから、詳細な一個一個の住宅までわかるのは、マルチバンド航空写真というものです。また、東京都都市計画の基礎調査、これはGISデータで、東京都に申請して許可をいただいているということで、データの出所に関しましてはこちらにきちんと記述してございます。

○中上会長 どうぞ、原嶋先生。

○原嶋副会長 表紙については、今日、ご意見をまとめる必要もあろうかと思いますがけれども、事務局といいますか、お聞きしたいのは、各部局とかでたくさん個別計画があって、こういう形でプリントしたり、情報提供しているんですけども、各部局での個別計画での表紙とかそういうのは、何か共通の、フォーマットはないんでしょうけれども、作成のポリシーといいますか、手順とか、あるいは、メッセージとしては非常に重

要なところだと思ふということで、こういうふうに議論になっているわけですが、そのあたりは、区全体としては何かあるのか、ないのかというのをまずお聞きしたいんですけれども。

○中上会長 では、企画部長さん、お願いします。

○企画政策部長 特に基本的な考え方というのは持ってございませんで、それは個別計画ですので、その分野の特性といいますか、目的がございますので、それを一目見て象徴してわかるようなものを、各それぞれの計画では選んでいただいている。

それを選んでいただいている中では、協議会形式で区民の方にご参画いただいて、やっている協議会がたくさんありますので、その中の議論を踏まえてという形でつくられていくのかなと思っております。

○原嶋副会長 それで、前回からもそうなんですけれども、今日もそうですし、写真ですと、見た方の反応はすごくまちまちなんですね。これがいいとか悪いとか、色合いの問題とか、あるいは、写真を取り寄せるという限界も当然あって、空だったら空でいいという意見もあれば、それはあまり適切ではないという意見もあるし、メッセージ性が足りないとか、あるいは、2枚目のように幾つかスポットを選んでいただければ、このスポットがいいとか悪いとか、多分、ここに十数名いらっしゃれば十数名のご意見があって、あるいは、区民全体20万人の方が見れば、それぞれご意見があって、どう決定しているのか難しくて、その結果が多分、事務局で決めてくださいという9票が一番多くなる結果だと思ふんですけれども。

そのあたり、ご出席の皆さん、写真の、それぞれのご意見もあると思いますし、こういうスタイルについて、なかなか限界があるなという感じがして、逆に、これで決めたら決めたと、また、出すといろいろご意見が、区民の皆さんはあるかと思ふんですけれども、そのあたりのご感想を、まずお聞きしておいたほうがいいかなと思いますし、もう一つは、今、原案に、基本計画の中の中表紙に、とてもメッセージ性の高い、お子さんには限らない、学生さんでしょうけれども、絵を4つぐらい出していただいている、拝見していると、この中に埋もれさせてはもったいないなという印象もちょっとありまして、写真によるメッセージ、誤解したメッセージを与えてもいけませんし、基本計画の中表紙にある絵は、そういう意味では、ここに埋もれさせてはもったいないような気もして、この絵を表紙に持ってくるなんていう、やや従来にない意見なども考えられるなという感じもしているんですけれども、その辺、時間の限りもあるので、あ

れでしょうけれども、一通りご意見を頂戴したほうがいいんじゃないかと。

そうじゃないと、事務局のほうも、段取りの的にも大変でしょうし、事務局に丸投げ9票というところが、その難しさをあらわしているんだと思うんですけれども、差し支えなければ、ご意見をいただいている方からもご意見を頂戴して、はい。

○中上会長 では、まず上田さんから。

○上田委員 上田と申します。まず、表紙の件に関しまして、僕も2番目のこちらのほうを出していたんです。今日、出しておいたんです。

ただ、ちょっと不満なところがございまして、端っこの和紙の部分をもうちょっと狭くして、ふすまか障子を入れたらいいかなと思ったんですね。ふすまか障子、金びょうぶでも構いませんけれども、そんな感じで、少し表紙に目を引くような形をとったらおもしろいかなと。

それと、文の京というルビですけれども、これは区史編さん委員会のほうでも、ちょっと顔を出していまして、このときも問題になりまして、これは意味がわからないと。あのときはルビが振っていなかったんですけれども、どう読むのか、「ふみのきょう」かというような話になったんですけれどね。ここにルビを振って、意味はわからなくても、とりあえずルビ振って読みやすいようにしたらということで、今、そのような方向性で区史編さんのほうが動いている。3月には写真集ができますので、そのときには載っかってくると思います。

そのときもやはり3つか4つぐらい、表紙のプランが出てきまして、どれにしますかという話だったんですよ。結局、積極的に自分でつくるということはできませんので、その中で選ぶしかないかなという形です。今回の環境基本計画自体もそのような形で、3つのうちの1つ、だから真ん中あたりで、それにちょっとオプションをつけていけば、ちょっといいような感じができるかなと思っているわけです。

ほかに、お話ししてもよろしいですか。文京区という、小石川、本郷区ですけどね、昔からいうね。あそこは何しろ武蔵野丘陵のどん詰まりで、崖もあれば坂もある。ですから、水が豊富なんですよね、ここはね。どこからでも水が流れている。泉が湧く。そのような環境の中で、どういう形で作り上げていくかというより、僕自身は今回、メッセージとして、積極的に何もしない環境をつくっていかなければいけないんじゃないかと思っているわけです。

特に明暦の大火以来、小石川とか本郷のほうに、駒込もそうですけれども、お寺をみ

んなこっちのほうに移してきました、極端に言えば、吉原だってその当時、持っていったらよかったからね、吉原のほうに。昔、小伝馬町にあった女郎屋さんですね。ああいうところで、火除け地をつくっていたんですね、いっぱいね。いわゆる広小路というところですね。両国の広小路、上野の広小路という形で、そういう火除け地をいっぱいつくっていて、その関係で、お寺とかそういうのはみんな外に出されちゃった。

ですから、お寺とかいうのは、なかなか変えられない地域なんですよ。だから、変えることができないということもないですけども、変えられない場所がいっぱいあるということ、これはすばらしいことだと思うんですよ。東京23区の中で、特に山手線の外は、こういうところがあまりない。ですから、有効利用した土地がどんどん出てきちゃって、そのままどんどん変わってきちゃう。

ただ、文京区とか、台東区とか、豊島区もそうでしょうね。荒川もそれに近いですね。そのあたりは、変えられない場所が結構ある。墓地や何かがございますからね。墓地を最近、ビルにしているところもありますけれども、そういう中で、変えられない場所がいっぱいあるということは、これは宝物じゃないかと思っているわけです。

そういうことで、先ほど言った、積極的に何もしない場所をいっぱいつくっていきたい。そのことを今、ちょっと提案して、メッセージとして、事務局のほうへ渡しておきましたので、後でごらんになってください。

以上です。

○中上会長 ありがとうございます。

プログラムどおりの時間でいくと15分ぐらい超過しているんですけども、今日の一番中心ですので、ここでご意見を全部出していただいて、あと、最終取りまとめに行きたいと思いますので、表紙の件、それから、今のご意見等も含めまして、取り込めるものはできるだけ取り込もうと思いますが、まず、表紙の件につきましてはいかがでございますでしょうか。

○石川副会長 追加でよろしいですか。今、この2つと、それから、副会長のほうから、中表紙にせっかくいろいろな方のお子さん、学生、小・中学生のものが出ているので、それをコラージュみたいにして前に出してくるのもいいんじゃないかということで、それは原案はないんですが、私、メッセージ性はすごくあるんじゃないかと。

環境基本計画、皆さんでやっていこうということなので、1つ選ぶと偏りますけれども、今、たまたま4枚ある。それから多分、ストックがたくさんあると思うんですけど

ども、色合いとかバランスなどを考えて、複数のものをコラージュして、表紙になどする。また、それはそれで、非常にメッセージ性が高いものになるのではないかという、ご意見を伺いまして、そんな印象を持ちました。

○中上会長 ありがとうございます。

ポスターはまだまだいっぱい応募してくださったものがあるそうで、4枚は、その中ですぐれたものをここに取り上げているわけですが、そういう形で使おうと思えば、多分、もっとほかのものも、コラージュ風にできる、あるかもしれませんし、そうすると、松下さんにデザインのところで応援していただかないと、区のほうではなかなかできない。

○松下委員 私はデザインじゃないですが、たくさん区内にも、この中にもいるんじゃないですか。

○中上会長 そうですね。並べ方等でまた物議を醸すといけないので、そこはきちっとした、そういうのがわかる人に並べてもらわないと、私が並べると無味乾燥になってもいけませんし、そういうご意見が今、出てきていますが、ほかの方、いかがでしょうか。島田さん。

○島田委員 これの案は、表紙の、この本でいくと一番先頭のページだと思うんですけども、裏表紙とか、あとは、最初にページをめくったところの使い方は、ちょっとイメージとしてできていないんですけども、例えば2つ目の写真に、どこの場所なんだとか、どういうカニなんだとか、表紙の解説をちょっとだけ入れた手法が結構あるんですけども、そういうことはどういうふうにと考えたらいいんでしょうかという、質問になってしまいうんですけども。

○環境政策課長 まず、表紙の裏側に関しては、基本的に白紙で考えております。必要な事項だけ書くことで考えております。

2つ目の質問ですけども、写真に関しては、どこの場所かというのは、確かに表紙に書けないので、裏側で同じようなイラストのようなものを書いて、そこに位置を書くとか、工夫はよくしていますので、そういったことで、この場所については、工夫をすることで伝えることはできると思います。

○島田委員 表紙の裏が白紙というのは、すごくもったいないなと今、聞いていて思ったんですけども、広告なんかでも、「表4」というんですけども、これは一番高い

んですよ、掲載料が。結構重要だと思うんですけども、白紙でよろしいんでしょうかと、ちょっとご意見をお伺いしたいんですが。

○**環境政策課長** 今の裏というのは、計画書の紙の裏の部分ということですよ。表紙の、背表紙ですよ。

○**島田委員** 背表紙ですね。

○**環境政策課長** 背表紙については通常、前計画もそうなんです、いわゆる、文京区であるとか、作成年度を書いたり、これは地球温暖化対策のものなんです、あと、東京都の環境基本計画もこういった形ということで、裏表紙に関してはこういった、あまり情報が分散しないような形でシンプルなものに……。

○**島田委員** 定型のフォーマットがあるということですか。

○**環境政策課長** 定型というか、大体そういう形で作られています。

○**島田委員** ありがとうございます。

○**中上会長** いかがでしょうか。後で事務局一任とされても困りますので、皆さんのご意見を頂戴しておかないと。

どうぞ。

○**佐野委員** 私、実は一任で出した1人かと思うんですが、私がお願いしたいと思うのは、表紙を区民が見て、文京区らしさを感じられるもの、または、区が何を区民に伝えたいかということが明確に伝えられそうなものであれば、特に絵でも、写真でも、こだわりはないかなと考えています。

実は過去に、ほかの区で概要版のほうをつくった経験がございまして、そのときは、シンプルにその区の象徴的な写真を1枚掲載して、その区が目指す環境の姿というものをあらわしてみたようなこともありましたので、もう少し、私としては、2枚目をベースにして、写真の枚数を減らすなどして、メッセージ性を高めるとか、シンプルでわかりやすいものにするほうがいいのかなという感想は持っております。

以上です。

○**中上会長** ありがとうございました。

ほかにございますか。諸留さん、どうでしょうか。

○**諸留委員** 最初に、これは提示案を出されましたよね。そのときに言わないと、いつまでたっても切りがないですよ。だから、多数決でいいのかどうか、わからないですけども、でも、事務局にお任せというのが一番多かったんですから、事務局の誰が決め

るのか、センスのある方がいらっしゃるんでしょうから、決めてもらったほうが。もう切りがないので、幾ら言っても、でき上がったとしても、文句を言う人は何をやっても文句を言うし、だから、えいやで、事務局さんをお願いしたほうがよろしいかなと私は思いますけれども。

○中上会長 どうぞ。

○和田委員 私も当初、写真を入れたものということでご提案していたんですね。ただ、この2枚ですと、やはりいろいろな景色とか、サワガニがいて、生態系とか、とてもいいと思います。

ただ、基本計画の「ひとつが繋げる文の京の誇れる“あした”」という、未来にもかかっていると思うんですね。ほんとうに表紙で判断される方もありますし、もちろんいろいろな意見があるということもあります。それを踏まえて、こういう写真、特に四季ということも頭に入れて選んでいただけたらうれしかったんですが、おそらく素材が少ないんですね。事務局のほうでも、選ぶに当たって素材が、もしかして少なかつたんじゃないでしょうかね。だから、これからもそれは難しいのでしょうかね。

この写真ですとあまりにも、文京のよさの一つの坂道というの、もちろんこれもその一つなんですが、これと、あと神田川の護岸とかも、人工的なものというのがすごく押し出され過ぎないかなという懸念があります。そうじゃない写真、画像があれば、そういったものに差しかえていただけたらいいなと思っております。

それともう一つ、この場所はどこかなというのを絶対思うと思うんですね。ですから、中表紙ですか、白紙とおっしゃっていたので、差し支えなければ、あけて、どこか小さくでも、どこの何というような、それは入れていただけたらいいんじゃないかなと思います。

○中上会長 このポスターをとという案も出ましたが、それはいかがですか。

○和田委員 ポスターもいいと思うんですが、そうするとまた今から、どのというのは、かなり煩雑になるのではないかと、ちょっと事務局の立場になって、あれですけども。

○中上会長 写真の入れかえも多分、事務局は同じ手間だと思います。

○和田委員 きっと選ぶのに迷うことと、あと、この配置は、非常にデザイン的に難しいと思うんです。そうすると、並べ方とか、デザイナーさんが優秀でしょうから、ないと思いますけれども、それはとても私も、いい意見で賛成なんですけど、もう一つの意見は、今からはちょっと煩雑になるんじゃないかなと。それよりも、いい画像がほかにあ

るんでしたら、画像で差しかえていただきたいなと思います。

結論は事務局一任に、そういうポスターがうまく配置できるんでしたら、自信を持ってご提案いただきたいと思います。

○中上会長 ありがとうございます。

議論は尽きませんが、結局、事務局一任と、これもまた、会長一任とかなりそうですので責任重大ですけれども、十分、後で議論をさせていただいて、できるだけご意見を反映できるような形で、いい案を見つけたいと思いますので、とりあえずここで、もう一つ、二つ、ご議論いただく案件、議事がございますので、そちらへ移らせていただきたいと思います。

それでは、次の議事の資料3、4号について、課長からまたご説明をお願いできますか。

○環境政策課長 それでは、「文京区環境基本計画 概要版」について、ご説明をいたします。資料第3号をごらんください。一般向けの概要版となっております。計画の内容を抜粋した構成となっております。

先ほどの意見・対応の4ページをごらんください。A4横のホチキスどめのもので。こちらで、低炭素の分野で、イラストについてなんですけど、夏の28度だけではなく、冬の20度も追加したほうが良いということでしたので、概要版を1ページおめくりいただいて、見開きのA3のところなんですけど、一番左側の低炭素のところ、冬の20度設定のイラストを追加しております。

続きまして、資料第4号、小学生用の概要版になります。こちらにつきましても、先ほどの意見・対応表の4ページの一番上の「文字量や図の数を減らし見やすくし、文章や文言を平易な表現にしたほうが良い」や、3つ目の「全体としてのストーリー性を高めたほうが良い」や、5つ目の「遊びの要素をもたせたほうが良い」、これらの意見を反映して改善しております。

1ページおめくりいただきまして、「温暖化はどうなっているの？」のページですが、こちらは当初、図が4枚あったものを2枚に集約しております。また、吹き出しのせりふを読んでいただくとわかるんですが、ストーリー性を持たせております。また、ページの一番下に、ボックスにチェックを入れるような遊び心を持たせた形となっております。

実際の概要版ですけれども、A3を2枚つなげた観音開きとなっております。最初に

開いたときには、表紙の裏側の2ページ目、裏側の部分と一番最後のページの地図ですが、先ほどの計画書で、中央大学様のご協力をいただいた地図をここに載せます。まず最初に開いた瞬間に、「文京区的环境を知ろう！」のページとこの地図のページが見える形になります。

それをさらに開いていきますと、2ページ目の「温暖化はどうなっているの？」から始まって、次ページの「ごみはどのくらい出ているの?」、「身の回りの環境はどうなっているの?」、最後の「環境を守り、よくするためにどんなことしているの?」が4つ並んでいる形になります。

そして、一番最後の裏側には、クロスワードパズルということで、勉強していただいたことを復習するという形で載せております。

このような構成で作成しております。説明は以上となります。

○中上会長 ありがとうございます。

それでは、ただいまのご説明につきましてご意見、ご質問がございましたらどうぞ。

ついでに私のほうから、最後の小学生用の地図のおさまりがよくわからないんですが、向きが通常だところなるはずが、こうなっているんですが、違いますか。こうですね。そのおさまりがあい、見開きになっているので、よくわからないんですけども、通常ですと右左が逆ですよ。とじているほうが上になって、こういうふうに見るはずなんですが、こうは見ないですね。

仕上がりはこれじゃないものですから、折り畳むので、イメージがちょっとすぐできないんですけども、どういうふうになるんでしょうか。折り畳まれるから、これでいいのかな。どうなんですか。

○環境政策課長 そうですね。少し白黒なんですけど、実際こういった形で、開くと地図が出ていうか、ちょっと地図が今、これは、普通の北を上にして置くと小さくなり過ぎるので、せつかくのいい地図ですので、なるべく大きくするために横にしているんですが、これは横になりますので、このページですから、子供たちが書いてもらうときに……。

○中上会長 横がいいですね。

○石川副会長 横のほうがいいですよ、小さくなったとしても。

○環境政策課長 逆さかもしれないですね。それは一般的に観音折りのときに……。

○中上会長 観音開きではこうなるんですか。

○**環境政策課長** はい。それを調べて、標準タイプで載せるようにいたします。

○**中上会長** そうですね。

○**環境政策課長** それと、現行ではちょっと地図の色合いが出ていないんですが、実際の作成のときにはきれいな形で載せて、もう少し上の文字を小さくして、地図が大きくなるような工夫はしたいと考えています。

○**石川副会長** 地図ですので、方位と縮尺は必ず入れてください。それがないとわかりませんので。

○**環境政策課長** はい、了解しました。

○**中上会長** そうですね。

いかがでしょうか。どうぞ、諸留さん。

○**諸留委員** 細かいことで、まことにすみませんけれども、最後のページでクロスワードのところで、私、前に見て、チェックしてお届けしたんですけども、一番右端の6番、「リデュース」の伸ばすあれを、縦に書く場合は普通、私なんかだと、「リデュース」というのは縦に棒を引っ張って、ここだけ横にして引っ張らないと思うんですね。

その下の「クールアース」は、常識的に横にしていますよね。縦だったら縦にやるのが普通だと思うんですけども、私から言われたのがおもしろくないのかどうか知らないけれども、直してあったのに、直していないということは、意図的に何かあるのかなと思って。

以上です。

○**環境政策課長** これは、答えを今、参考に入れていきますので、実際に印刷するときには、ここには文字が入っていない形ということで、これは皆さんに見てもらうために一応、答えを入れていきますので、本番では空白になっているので、すみません。そういった意味で、意見・対応のほうにも入れておりませんでした。

○**中上会長** ということだそうで、諸留さんの意見を無視したわけではないと、ご理解いただきたいと思います。

○**諸留委員** それならいいけれども、忘れないで消しておかないと、忘れないようにしておかないと……。

○**中上会長** どうぞ。

○**松下委員** 小学生版で、いろいろ私が書いた、例の放射線量のところ、いろいろ改定して下さったんですが、小学生が一番気にしているのがその辺だと思うんですね。こ

このところで、大気、水質、騒音などは、環境基準をほぼ達成していますと書いてあるので、何で放射線が入っていないんだろうと勘ぐる高学年の小学生もいるかもしれませんので、せっかくクリアしているんですから、そこに入れたらいかがでしょうか。

○中上会長 私も、どこかを見ているときに、それがちょっと気になりました。

○環境政策課長 わかりました。その分野でいきますと、大気汚染に関しては、いわゆる法律で定めた基準に基づいて調べているものになります。また、歩行喫煙や放射線の測定に関しては、突発的に発生する、生活環境を守るための項目ということで、歩行喫煙を載せておりますので、そのあたり、うまく場所を工夫しながら、同じように、計画のほうには載せていますので、載せられれば、数字を書くのか、それとも、測定をしていますという書き方なのか、工夫しながら載せてみます。

○中上会長 ほかにございませんでしょうか。

どうぞ、先生。

○原嶋副会長 ちょっと余談になりますけれども、西暦と元号、見ていると結構ばらばらなので、今後、いろいろ国の動きもあるので、難しいでしょうけれども、特に子供さんのほうは、わかりやすく工夫してください。

○中上会長 いいですか。

○環境政策課長 そうですね。少なくとも同じページの中で同じことを伝えている中で、両方併記してあると混乱を招くと思いますので、そこら辺はもう一度見て、整理をしたいと思います。

データ等は、もとのデータをそのまま引っ張ってきたりしていますので、それぞれ年号を使ったり、西暦を使ったり、ばらばらになっておりますので、少なくとも文章の中等で使うときには、整合性を図りたいと思います。

○中上会長 どうぞ、石川先生。

○石川副会長 神田川というのは、文京区を語る上で非常に大事なんですが、実際、航空写真でやりますとぶつぶつ切れちゃうんですね、高速道路があつたり。神田川というものの存在をきちんとここで明示するのであれば、お隣の千代田区さんも含めて、これが神田川なんですよという表示をした方がよいような気がいたします。

○中上会長 いかがでしょうか。

○環境政策課長 そうですね。例えば今回、中央大学さんでつくっていただいた地図も、神田川の部分が切れていますし、凡例のほうでも、「行政界」と書いてありますので、

その行政界で切れているのだと思います。

ですので、地図を使うときの目的にもよると思うんですが、しっかり川を見せたい場合には、行政界についてはちょうど川の真ん中に引くにしても、反対側の千代田区等の地図が入っている場合もありますので、それはその地図の加工の仕方かなど。その場合、行政界はしっかり入れないといけないと思うんですけれども。

○石川副会長 私どもは忠実にやっておりますので、逆に、こうやって成果で見ると、何となくどうかなと思うので、むしろ行政のほうのご判断を頂戴できれば、私どもではいかようにでも、このままでも結構でございますし、それから、修正するということはいたします。

○環境政策課長 わかりました。もし簡単に修正できるのであれば、川も入れてもらって、区境はしっかり入れてもらえれば、川は全面見えますので、その作業も、このデータをつくるのはほんとうに大変だったと聞いていますので、もし今回に間に合うようであれば、直してもらえば、そういった形で載せるのは可能だと思います。

○石川副会長 そうですね。高速道路で隠れているところも、川を見せてよろしいんでしょうか。ごめんなさいね、こんな細かなことで。

○環境政策課長 それは、そうですね、高速道路を除いた形の地図データをつくってもらえるのであれば、凡例で、実際は高速道路5号線が走っていますとか注記をすればいいわけですので、どちらかという、地図のデータの加工のほうが大変なのかなと思います。もし、してもらえれば、そういった注意書きで対応できると思います。

○石川副会長 検討いたします。了解いたしました。

○中上会長 ありがとうございます。

ほかにご意見ございませんでしょうか。どうぞ、佐野委員。

○佐野委員 子供版のほうにつきまして、2点ございます。

1つが、クロスワードのところ、すごくわかりやすい表現に、当初案から最終案になって、全体的に言えることですが、かなり改善されて、いいのかなと思っていますが、まだ一部、ちょっと難しい言葉が残っているのではないかなと思ひまして、例えば、「啓発イベントとして」というのは、「啓発」という言葉はなくてもいいような気がしますし、「気温を上昇させる」というのは、子供向けでしたら、「気温が上がる」とか、表現をもう少し直していただくといいのかなと。

「既に起こりつつある」の「既に」は、子供向けであれば平仮名でもいいようにも思

いますし、同様に、全体的にまだ難しい言葉があるのかなと思いますので、例えば、喫煙の「喫」というのは、小学生にはちょっと厳しいのかなと。たばこを吸わないようにとか、災害時の避難所の「避」というのも、これは小学校、中学校でも習わないと思いますので、もう少し易しい漢字にしたほうが、多くの子供が読む気になるという。子供が読む気になるという視点で、言葉をもう少し精査していただくといいように感じました。

それから、「一部未達成の項目が」、これもちょっと、漢字が5つ並んだりして拒否感を覚える子も多いと思いますので、「騒音などでは、達成できていない項目があります」とか、もう少し言い回しを工夫していただくといいと感じました。

以上です。

○中上会長 ありがとうございます。

よろしいでしょうか。

○環境政策課長 わかりました。クロスワードの文字につきましては、やはり難しい言葉を使っているんですが、実は本編、中身を見ていただくと、答えのところに下線が引いてあります。要は復習ですので、もう一回、もとに戻って読み返してもらおうと、啓発なのかとわかるような工夫で、ちゃんと復習をできるような形にしています。

また、言葉につきましては、実はまだ組成分析調査とか、かなり難しい言葉が入っていますので、そういったものには対応しようと考えておりますので、その中で、しっかり見直したいと思います。

また、現段階でも、小学5年生のお子様、何人かに読んでいただいて、一応、チェックは入れております。

○佐野委員 大変よい方向性だと思いますので、ぜひ最終的に、完成まで向けて頑張っていたいただければと思います。

○中上会長 ありがとうございます。

ほかにございませんでしょうか。どうぞ。

○松下委員 今さらということで、すごいことに気づいてしまったんですが、しかも水辺に関係するもので、歴史と。それが全くどこにも出てこないんですよ。

会長、何でしょうか。

○中上会長 何でしょうか。そう言われると困る。

○松下委員 もうわかるかな。弥生式土器で、弥生時代なんですよ。縄文、弥生で、弥

生文京区というのを、あれ、水辺ですよ、ちょうどあそこのところですから。今、これをば一っと見たんですが、弥生時代とか、弥生土器とか、一応、文化・歴史、この中でも矛盾はしないし、確かに建物、重要文化財があるわけではないですけども、誰もが知っている、それから、水辺や何かに絡んでくる弥生というのを、どこかに入れるか、場合によっては、区長の挨拶にうまく入れると、すごくきれいにはまるのかなという気がいたしました。

○中上会長 ありがとうございます。

気がつきませんでしたけれども、いかがでしょうか。

○環境政策課長 今回の文京区の環境基本計画においては、歴史・文化という、ほかの区では取り上げない項目を環境の一つとして取り上げています。その取り上げている理由なんです、こういった歴史的文化的な建物に関しては、まとまった緑と水辺を形づくっているということで、現在、既にそういった緑や水の環境をつくっているという事実があるので、それを守っていくことが環境を守ることになるんだという位置づけにしていますので、弥生式の、私ども見たことがありますけれども、現時点では、直接緑のまとまりを形づくるとか、水辺をという話ではないので、歴史的には非常に重要な話なんです、今回の環境基本計画の歴史・文化を取り上げた趣旨からいくと、なかなか入れるのが難しいかなと思います。

○松下委員 おっしゃるとおりなんですけれども、歴史・文化とあえて入っているもので、一番最初さかのぼると弥生時代、しかも全国民が知っているもので、区長の挨拶あたりでもちょっと入るといいかなとか、特に水辺があるもので、人が住むというのは、やっぱり弥生時代に住んだということは、水があって、出るところだったので、ちょっとそれが気になりました。

○中上会長 ありがとうございます。

多少時間がございますが、基本計画の資料1号に戻っていただいても結構ですから、何かご意見。どうぞ。

○上田委員 今の松下さんのお話ですけども、文京区でもう一つ、おもしろいところがあるんですよ。東京に入って初めて、モースさんが大森で貝塚を発見した。2番目はどこでしょうか。

小石川植物園です。あそこに貝塚がございます。縄文時代になりますね。だから、弥生からまた2000年ほどさかのぼるかもしれないけれども、1万年ぐらいさかのぼる

かな。貝塚が明治のころに発見されたのは、モースさんが大森で電車に乗っていて、新橋から横浜へ抜ける途中、何か変な白いのがきらきら崖っ縁に見えるから、そうしたら貝塚だった。どこかほかにもあるんじゃないか。そこは今、小石川の植物園ですね。

小石川植物園はいろいろなものがありまして、青木昆陽さんだとか、映画で有名な赤ひげさんだとか、そのような方たちが歴史の中でいろいろ出てくる。それも結構、全国区の人がいるんですよ。その辺を見ながら、文京区をもうちょっと見直してもらいたいと思っております。そういうことです。

○中上会長 今になってどんどん膨らんできていますけれども、いずれどこかで、またきちっとそういうものを取り上げる機会を設けなければいけませんね。非常に誇るべき文京区の財産ですから、何らかの形で、またどこかで取り上げていただければと思います。

どうぞ、島田さん。

○島田委員 島田です。概要版の小学生と一般向けを比べて見ていて、あと、こっちの表紙も見ているんですけれども、～環境共生都市ぶんきょう～というところの3つの「緑」と「水」と「歴史・文化」というイラスト、これに関することが小学生版でどういうふうに出てきているのか。環境共生都市という言葉は、小学生に説明するのにすごく難しいと思うんですけれども、「水」と「緑」と「歴史・文化」というイラストぐらひは、どこか小学生版に入れられるんじゃないかなという気がしてまして、クロスワードは結構、3つの要素が入っているんですね。だから、どこでもいいんですけれども、クロスワードのあたりに、「水」と「緑」と「歴史・文化」のイラストみたいな、何かうまく入れられるといいなと思いました。

以上です。

○中上会長 ありがとうございます。

確かに、シンボリックなマークが抜けている。工夫をお願いします。

○環境政策課長 はい。小学生用は当初、学校の5年生の教材と合わせて、文京区の現状をとということで、そういった視点でつくっていますので、計画のビジョンは非常に重要なものですから、必ず入れたほうがいいと思いますので、どこかにビジョンは載せる形にします。ちょっと忘れていました。

○中上会長 まだ時間がございますから、ただいまのような抜けが生じないように、ご指摘をお願いします。

どうぞ、諸留さん。

○**諸留委員** もう一つ。小学生用というのは、公立の小学校はもちろんですけども、あと、国立がありますよね、お茶の水と竹早と筑波の附属がね。だから、最初から配る予定があるかどうか知りませんが、もし予定がなかったら、配ってあげたほうがいいんじゃないかと思います。

○**環境政策課長** 現在、部数としては1,000部以上を焼こうと思っているんですが、まだ、どこに配付するとかそういったことは決めておりません。また、配付ができなかった場合にも、インターネット、ホームページ等を使いながら、活用してもらうような工夫はしっかりしたいと思います。

○**中上会長** ぜひ広く情報が行き渡るような工夫を、よろしくお願ひしたいと思います。ほかにございませんでしょうか。どうぞ、佐野さん。

○**佐野委員** 概要版のほうのA3の見開きのところで、細かい話なんですけど、イラストで、廃棄物の適正処理の推進の中で、飲料用容器というボックスがありまして、あまり一般には見ないので、これは飲料用容器ではなくて、金属とか何か、一般的に区民が利用しやすい名称に変えてもいいのかなということと、隣のFCVも、区民的な目線でいくと、今後はどうも電気自動車のほうに傾きそうなイメージかなと思うので、PHVのほうに変えてもいいのかなとか、ちょっと細かいんですが、感じたことです。

以上です。

○**中上会長** いかがでしょうか。

○**環境政策課長** イラストのごみ箱については、文京区の分別の内容と合わせた形に直せるように検討してみます。

また、車両に関しても、今の動向を調べ、PHVがいいのか、FCVがいいのか調べて、どちらが一般的、区民の皆さんに伝わりやすいほうで選択したいと思います。

○**中上会長** ほかによろしゅうございますか。どうぞ。

○**石川副会長** もう一つ。子供たちのもので、「身の回りの環境はどうなってるの？」といううちの「みんなの取組」というので、取組にチェックするというのはとてもいいと思うんですが、ここの「景観まちづくり活動に参加してみよう！」というのがどんなのかというのが、子供たちがわかるかなと。ここを、どういうイメージなのか、教えていただければ。

小学生用の5ページの一番下のところに、「取り組んだらチェックしてみようね！」

とあるので、避難経路とか、このあたりはわかるんですが、「景観まちづくり活動に参加してみよう！」というのは、どういうイメージなんですか。

○環境政策課長 そうですね。子供向けには、景観まちづくり活動というのは少しわかりづらいと思いますし、区でそのような事業も、まち並みウォッチング等やっていますが、どちらかというとな大人向けの活動になっておりますので、ここは、子供ができるであろう活動の内容に差しかえます。

○中上会長 そうですね。大人向けの言葉がそのままここに来ていますので、子供さんにわかるような。わかりにくければ、無理して入れるとますます混乱しますから、あまり欲張らないほうがいいかもしれませんので、よろしくお願いします。

ご熱心な議論をどうもありがとうございました。今日で全部終わってご苦労さまでしたと言いたいところですが、まだ大分、積み残しといたしますか、宿題が出ましたので、事務局として、もう一頑張りしていただかなければいけませんし、私ももちろん全面的に協力いたしますので、ぜひ、いただきましたご意見、ご指摘につきましては、できるだけ盛り込めるように考えて、最終版に向けて頑張りたいと思います。

私、僭越ながら進行係をやらせていただきましたけれども、環境基本計画という、非常に幅が広いということが改めて確認できました。もともと日本で環境ということ、どちらかという公害問題とか、ネガティブな環境をどうやって戻すかということがスタートにあったようで、環境省も初期のころは環境庁で、公害対策とか、それが専らメインであったような気がしますけれども、現在は全く様相が変わってしまっていて、地球温暖化だとか気候変動という極めて大きな問題にまで広がってきています。

今回の中でも、3本柱ですけれども、ごみの問題といたしますか、廃棄物の問題、それから、生物多様性の問題、気候変動とつながってくるわけですけれども、ここ一、二年の動きを見ていると、気候変動問題がにわかに主役に躍り出ていますが、生物多様性というのは非常に大事なと改めて私、再確認いたしましたのは、人間は意外と鈍感で、気候変動と言われても全然ぴんときていないんですが、生物のほうは敏感に反応して、どんどん種が絶滅しているとか、日本では気がつかなくても、温暖な地域の湿地帯に行きますと、湿地帯がどんどん乾燥してしまっていて、あるいは、海水面の上昇で塩分濃度が上がって、たちまち生物が絶滅しているとか。

そういうのをテレビ番組等でお正月やっていましたけれども、あれなども、生物多様性と地球温暖化が密接に絡んでいるわけでありまして、ごみの問題も、昔とは全然違っ

ていまして、昔は自己責任で食べるものの期限なんて決めていたはずですけども、全部、つくり手側、売り手側の責任になって、あたったら全部つくり手側の責任だとなるものですから、どんどん細かく規定が決められてきて、買ったものは何日までに食べないとだめだ、あとは捨てなければいけないみたいな強迫観念に陥れられたりするわけですが、ほんとうは自己責任で物事をやるべきなんだろうと思いますが、何でもかんでも全部任せってしまうという方向になるのもいかなものかと思います。そういう意味では、環境を考えるとすることは、全ての社会活動、あるいは生活行動の基本だなど、改めて今回感じました。

文京区が一番強いところは、私はほかの地方の市の計画をお手伝いしているというか、委員をやっているものがあるんですけども、文京区はなんといっても、先ほどおっしゃいましたように、歴史的に非常に奥の深い資源、資産があるだけではなくて、まさに文の京と言われるように、あらゆる専門の大学がここにそろっているわけですし、ほかの市では、計画するときに、大学のご協力を得るなんていうことははなから期待していないわけですけども、そのわりに、文京区のわりに取り込み方が少ないんじゃないかと思ったり、もっとコラボレートしていいんじゃないかと思ったりします。

イベントとありましたけれども、このイベントも、ここで決めていますから、区のイベントとか官公庁のイベントということが主体になるんでしょうけれども、それぞれの大学でも大学祭があったり、いろいろな催しがある。商店会でもいろいろなものがあるわけですから、そういうイベントがつぶさに情報として、ここを起点にして発信されて、区民の方々がより取り見取りで、いろいろなところに行きたいということにつながってくる。

特にそれを環境というキーワードに基づいて、そういう情報発信ができれば、ここにアクセスするとみんな区のやっていることがわかるみたいなことになってくるわけですし、広がりはずっとあると思いますので、ぜひ、基本計画ができて一段落ではなくて、これからどうやってこれに肉づけをしていくのか。今日のご意見の多くは、これに基づいて、もっと深掘りしてください、もっと目を広げてくださいというご意見が多かったように思いますので、全部は盛り込めないかもしれませんが、そういう気構えで、ぜひ次につなげていただければと思います。

拙い司会で、いつも皆さんに混乱を招いたかもしれませんが、とりあえず、今日ここまでの皆さんのご協力に、ほんとうに心から感謝いたします。ありがとうございます

ました。

それでは、事務局から、何か連絡事項がございましたらお願いします。

○環境政策課長 本日、皆様からいただきましたご意見や委員照会でいただいたご意見で、今後修正する予定のものにつきましては、修正したものについて会長一任とさせていただきます。また、表紙につきましては、会長、副会長一任ということでお願いしたいと思うんですが、どうでしょうか。よろしいでしょうか。

(拍 手)

○環境政策課長 ありがとうございます。

それでは改めまして、皆様、文京区環境基本計画の改定に当たり、これまで多大なご協力をいただきまして、まことにありがとうございました。

なお、今後の予定ですが、本日決定いたしました最終案等につきましては、2月1日の文京区環境対策推進本部に報告し、今年度内に改定いたします。また、3月末までに計画書等を作成し、4月中に委員の皆様にお送りさせていただく予定です。

最後に、資源環境部長から一言ご挨拶させていただきます。

○資源環境部長 それでは、改めまして事務局より、最後に一言、お礼の挨拶を述べさせていただきます。

本日、環境基本計画の最終案をご了承いただきまして、まことにありがとうございます。本日いただきました意見を踏まえて、会長とともに最終案、計画を決定していきたいと思っております。

また、表紙につきましては事務局一任ということですが、今、課長のほうからも申し上げましたように、本日いただいた意見を踏まえまして、会長、副会長とともに協議して決定させていただきたいと思っております。

事務局の都合をちょっと言わせていただきますと、風景の写真よりも、ポスターコンタールのほうがストックも多いですし、選びやすいものですから、その方向でご理解いただいて、ぜひ決めさせていただきたいと思っております。

今回、計画策定以降の社会情勢の大きな変化等を踏まえまして、これまでの成果と課題を踏まえながら、環境共生都市として誇れる文の京を目指し、さらなる取り組みを推進していくため、計画の改定を行いました。その間、皆様におかれましては、協議会の場での熱心なご議論や多くのご意見をいただきまして、まことにありがとうございました。改めてお礼申し上げます。

今後は、計画の実現に向けまして、改めて気を引き締めまして、さまざまな取り組みを一層推進してまいりたいと考えております。皆様におかれましても、引き続き変わらぬご協力とご理解をお願い申し上げまして、お礼の言葉とさせていただきます。どうもありがとうございました。

○中上会長 今、表紙の決定に、これまた私一任では困るなど思ったら、副会長の先生方にもご協力いただけるので、幾分ほっとしておりますけれども、これで本日の日程は全て終了いたしましたので、協議会を閉会といたします。

皆様どうもありがとうございました。

— 了 —